

# 北九州市南方浦山石棺群 2 号石棺墓出土の古墳人骨

松下孝幸\*

【キーワード】：福岡県、古墳人骨、石棺、頭蓋、保存不良

## はじめに

北九州市小倉南区大字南方字浦山に所在する平石棺群内南方浦山石棺群 2 号石棺墓の発掘調査が 1996(平成 8) 年におこなわれ、石棺から人骨が検出された。

福岡県東部地域での古墳人骨の出土例は行橋市の竹並遺跡の横穴墓から出土した古墳時代後期人骨がよく知られている(九州大学、1988)。この例以外には北九州市の浦山古墳(松下・他、1994)、田原山崎古墳とみやこ町(旧・犀川町)の古川平原古墳(松下、1997)、岡垣町の南ノ前古墳群(松下、2000)から出土した例があるにすぎない。また、山口県の西部地域では豊浦町の汐汲遺跡(松下・他、1986)、菊川町の風呂ヶ迫横穴墓(松下、1996)から出土した古墳人骨がある。前者は比較的保存状態がよく、その特徴を知ることができたが、後者は保存状態はよくなかった。このように、周防灘・響灘地域での古墳人骨の出土量は著しく少なく、古墳人の形質については不明な点が多い。

浦山古墳の 4 世紀に築造された箱式石棺から 1 体分の壮年男性の頭蓋が検出された。頭型は中頭型(頭蓋長幅示数 78.67)で、上顔高はけっして低くはないが、より顔の幅が広く、広顔傾向を示し、歯槽性突顎がみられた。古川平原古墳からは 1 体の壮年男性骨が検出された。頭型は中頭型(頭蓋長幅示数〔76.09〕)で、顔は低顔で、歯槽性突顎の傾向が認められ、四肢骨は細かった。南ノ前古墳群(横穴墓群)(6 世紀前半～7 世紀後半)からは 30 体の人骨が出土したが、保存状態が悪く、頭蓋は男女とも 1 例しか計測ができなかった。男女とも頭型は中頭型(男性の頭蓋長幅示数(78.16)、女性の頭蓋長幅示数 78.11)で、顔面には強い低・広顔傾向が認められ、四肢骨は細いものであった。身長は男性は著しい低身長(154.06cm)であるが、女性は高身長(153.76cm)であった。汐汲遺跡からは 7 体の古墳人骨が出土した。特徴が把握できたのは男性のみで、頭型は中頭型(頭蓋長幅示数 77.90)で、顔面頭蓋は狭・高顔で、歯槽性突顎傾向が認められ、推定身長値は 159.51cm で、わずかに高い傾向を示した。風呂ヶ迫横穴墓から出土したのは 1 体の熟年男性骨であったが、保存状態が悪く、頭型も顔面の形態も知ることはできないものであった。

本石棺墓から検出されたのは頭蓋のみで、保存状態は悪かったが、観察が可能で、性別などを推測できたので、その結果を報告しておきたい。

## 資 料

2 号石棺墓から検出されたのは 2 体分の成人頭蓋のみである(表 1)。1 体(2 号人骨)は下記の所見から男性骨と推測されるが、もう 1 体(1 号人骨)は性別を推定することができなかった。各人骨の性別・年齢などは表 2 のとおりである。なお、年齢区分は表 3 に示した。この 2 体の人骨は、考古学的所見より、古墳時代に属する人骨である。

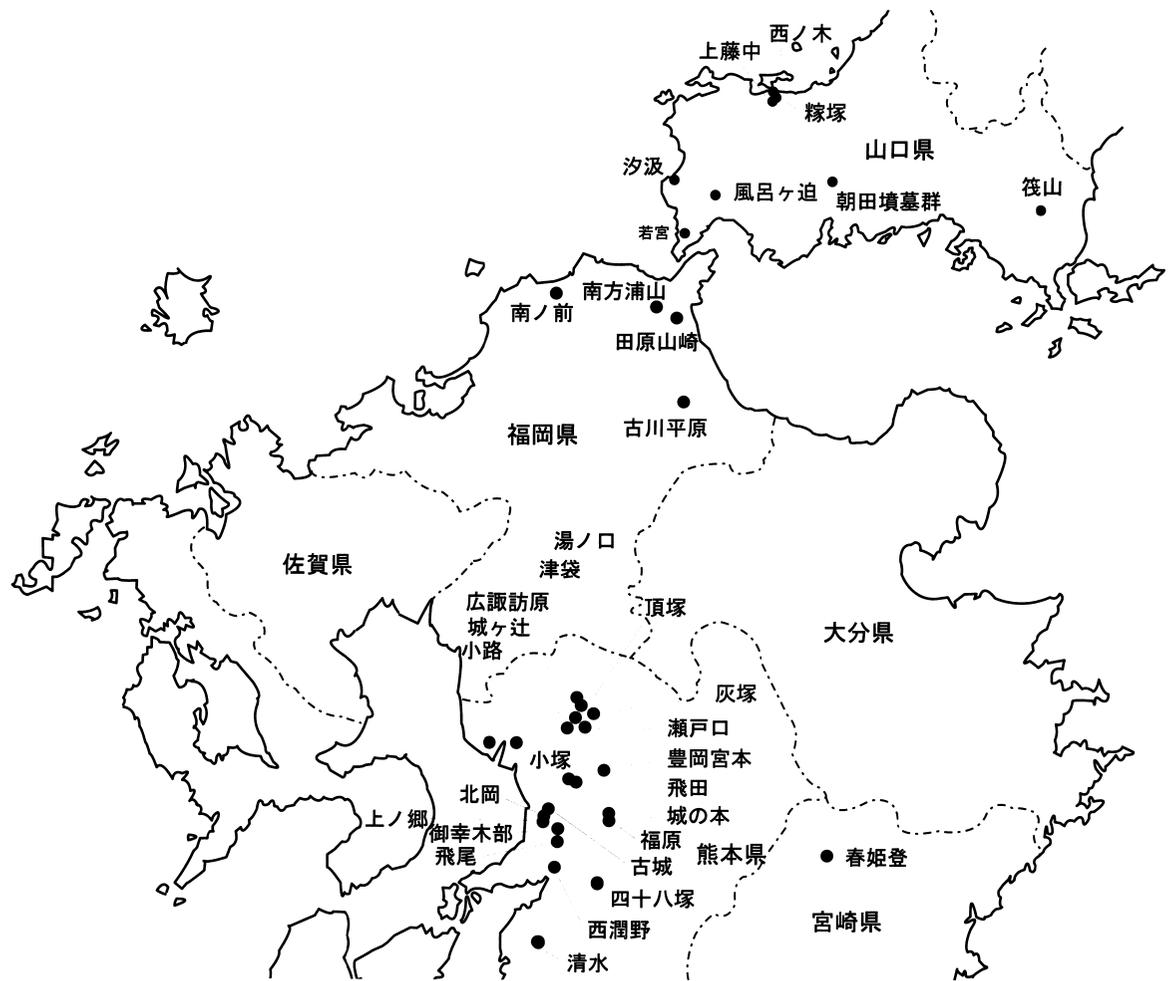


図1. 遺跡の位置 (1/25,000)

(Fig.1 Location of the No.2 stone coffin, Minamiurayama site,  
Kitakyusyu City, Fukuoka Prefecture)

表1 資料数 (Table 1. Number of materials)

| 成人 |    |    | 幼小児 | 合計 |
|----|----|----|-----|----|
| 男性 | 女性 | 不明 |     |    |
| 1  | 0  | 1  | 0   | 2  |

表2 出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)

| 人骨番号 | 性別 | 年齢 | 備考   |
|------|----|----|------|
| 1号人骨 | 不明 | 熟年 | 頭蓋のみ |
| 2号人骨 | 男性 | 老年 | 頭蓋のみ |

表3 年齢区分 (Table 3. Division of age)

| 年齢区分 |    | 年 齢                           |
|------|----|-------------------------------|
| 未成人  | 乳児 | 1歳未満                          |
|      | 幼児 | 1歳～5歳 (第一大臼歯萌出直前まで)           |
|      | 小児 | 6歳～15歳 (第一大臼歯萌出から第二大臼歯歯根完成まで) |
|      | 成年 | 16歳～20歳 (蝶後頭軟骨結合癒合まで)         |
| 成人   | 壮年 | 21歳～39歳 (40歳未満)               |
|      | 熟年 | 40歳～59歳 (60歳未満)               |
|      | 老年 | 60歳以上                         |

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(1996)を参照されたい。

## 所 見

### 1号人骨 (性別不明・熟年)

残存していたのは頭蓋のみである。残っていたのは頭蓋の右側部分で、右側頭頂骨、後頭骨の右側半分、右側側頭骨、右側頬骨および右側上顎骨である。外後頭隆起はやや突出しているが、乳様突起は小さい。頬骨弓は頑丈である。縫合は三主縫合のうちラムダ縫合右側部の観察ができた。内板は癒合しており、外板はまだ明瞭である。右側外耳道の観察ができたが、骨腫は認められない。脳頭蓋も顔面頭蓋も計測はできない。また観察によっても頭型を推測することができない。

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

[ / : 不明、番号は歯種 ]

[1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯]

咬耗度は Broca の 2 度 (咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ) である。なお、風習的抜歯の有無や歯の咬合形式は不明である。

性別は不明であるが、年齢はラムダ縫合の内板が癒合閉鎖しており、外板が明瞭であることから、熟年と推定した。

## 2号人骨（男性・老年）

残存していたのは頭蓋のみで、頭蓋冠、右側側頭骨および下顎骨が残存していた。下顎骨は植物の細根によってかろうじて形態を留めている状態である。外後頭隆起の観察はできない。眉上弓の隆起はかなり強い。右側外耳道の観察ができたが、骨腫は存在しない。三主縫合の観察ができたが、これらは内外両板とも癒合閉鎖している。脳頭蓋の計測はできないが、観察によれば、頭型は長頭に傾いた中頭型と思われる。下顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

／／ 6 5 4 ／／／／ | ／／／／／／ 7 ／      [／：不明、番号は歯種]

[1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小白歯、5：第二小白歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯]

歯冠は大きく、咬耗度は Broca の2度（咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ）である。なお、風習的抜歯の有無や歯の咬合形式は不明である。

性別は眉上弓の隆起が強いことから男性と推定した。年齢は三主縫合の内外両板が癒合閉鎖していることから、老年と思われる。

## 要 約

北九州市南区大字南方字浦山にある南方浦山石棺群2号石棺墓の発掘調査がおこなわれ、人骨が出土した。残存していたのは頭蓋のみであった。観察などをおこない以下の結果を得た。

1. 2号石棺墓からは2体分の成人頭蓋が検出された。1号人骨は熟年の頭蓋であるが、性別を明らかにすることができなかった。2号人骨は老年の男性骨である。
2. 頭蓋の計測は2体ともできなかったが、観察したところ、2号人骨の頭型は長頭に近い中頭型と思われる。
3. 2体とも顔面の特徴などの詳細を知ることはできなかった。

## 《参考文献》

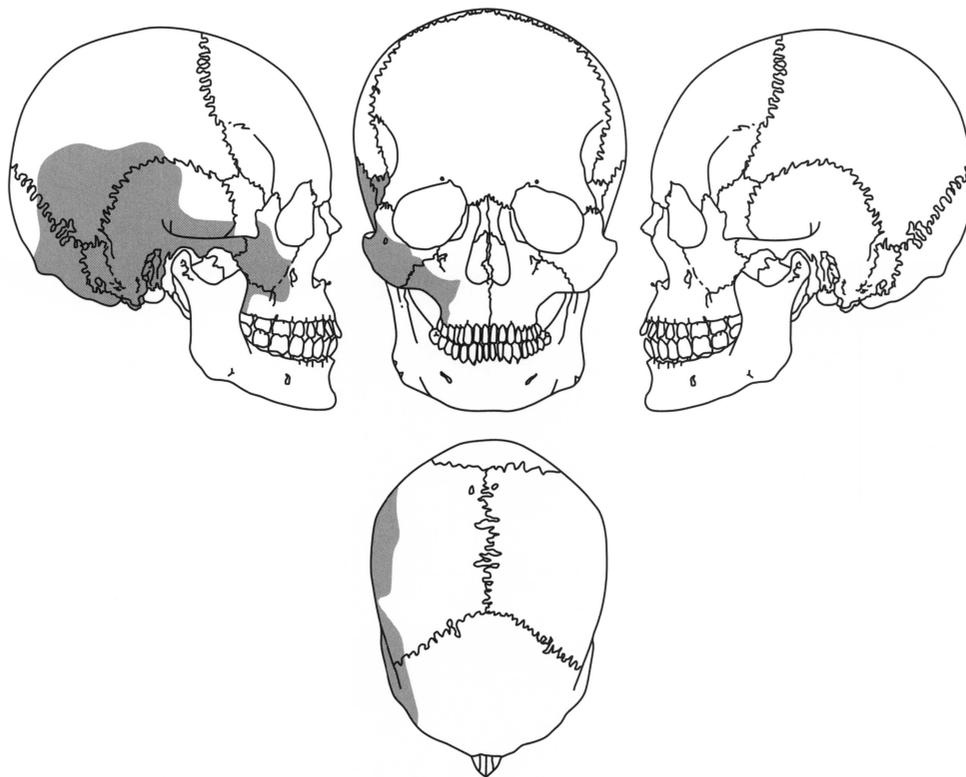
1. 九州大学医学部解剖学第二講座、1988：日本民族・文化の生成、2、九州大学医学部解剖学第二講座所蔵古人骨資料集成。六興出版、東京。
2. Martin-Saller, 1957：Lehrbuch der Anthropologie. Bd.1.Gustav Fisher Verlag, Stuttgart：429-597.
3. 松下孝幸、1982：山口県朝田墳墓群第Ⅱ地区出土の人骨。朝田墳墓群Ⅴ（山口県埋蔵文化財調査報告64）：179-206.
4. 松下孝幸・他、1983：山口県山口市朝田墳墓群第Ⅱ地区出土の人骨—総括篇—。朝田墳墓群Ⅵ（山口県埋蔵文化財調査報告69）：219-242.
5. 松下孝幸、1984：宇部の古人骨。宇部地方史研究、第12号：1-23.
6. 松下孝幸・他、1986：山口県豊浦町汐汲遺跡出土の古墳時代・中世人骨。汐汲遺跡（豊浦町埋蔵文化財調査報告第7集）：75-102.
7. 松下孝幸・他、1991：山口県妙徳寺山古墳出土の人骨。山口県文化財報告第134集：71-76.
8. 松下孝幸・他、1994：北九州市浦山古墳出土の人骨。南方浦山古墳（北九州市文化財調査報告書第58集）：13-17.
9. 松下孝幸、1996：山口県菊川町風呂ヶ迫横穴墓群出土の古墳時代人骨。風呂ヶ迫横穴墓群発掘調査報告（菊川町埋蔵文化財調査報告第4集）：21-28.
10. 松下孝幸、1997：福岡県犀川町古川平原古墳出土の古墳時代・近世人骨。古川平原古墳群（犀川町文化財調査報告

告書第5集): 82-98.

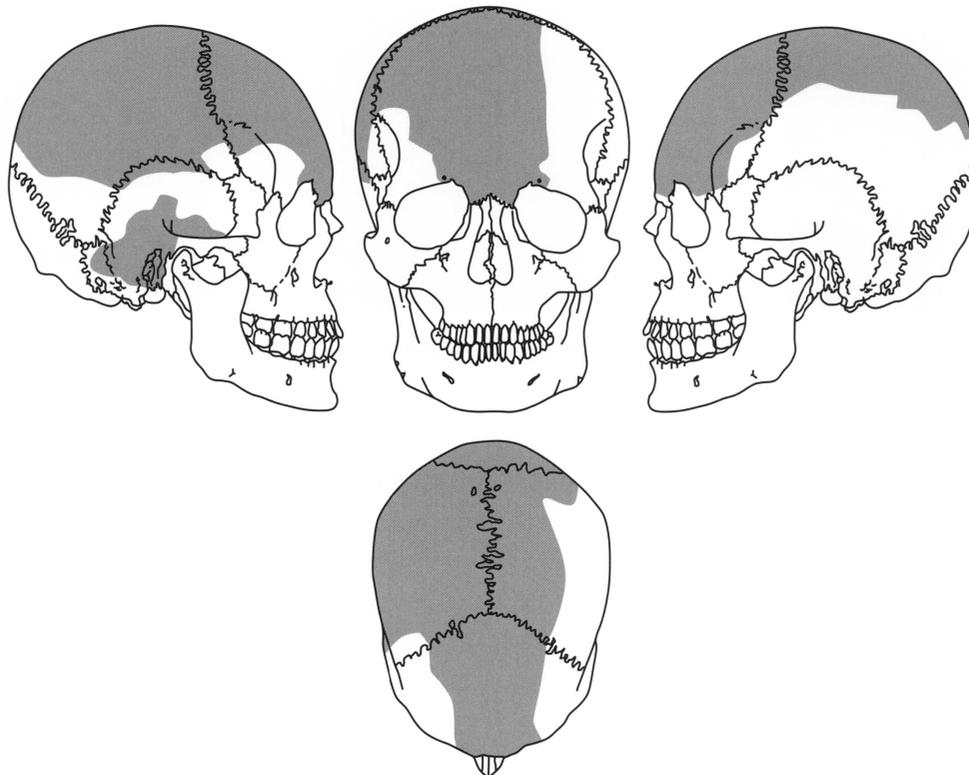
11. 松下孝幸、2000:福岡県岡垣町南ノ前墳墓群出土の古墳時代人骨。南ノ前古墳群(岡垣町文化財報告書第18集): 1-24.

---

\* Takayuki MATSUSHITA



南方浦山 2 号石棺墓 1 号人骨 (性別不明・熟年)



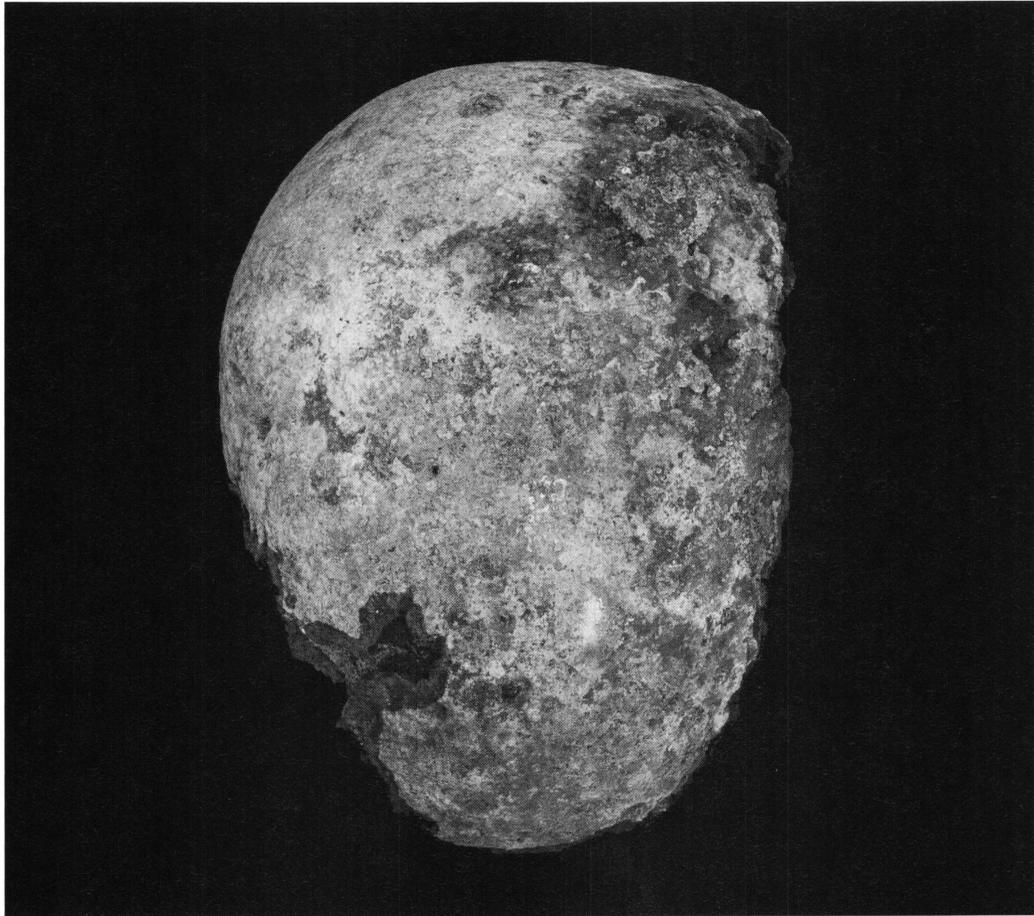
南方浦山 2 号石棺墓 2 号人骨 (男性・老年)

図 2 人骨の残存図 (アミかけ部分)  
(Fig.2 Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

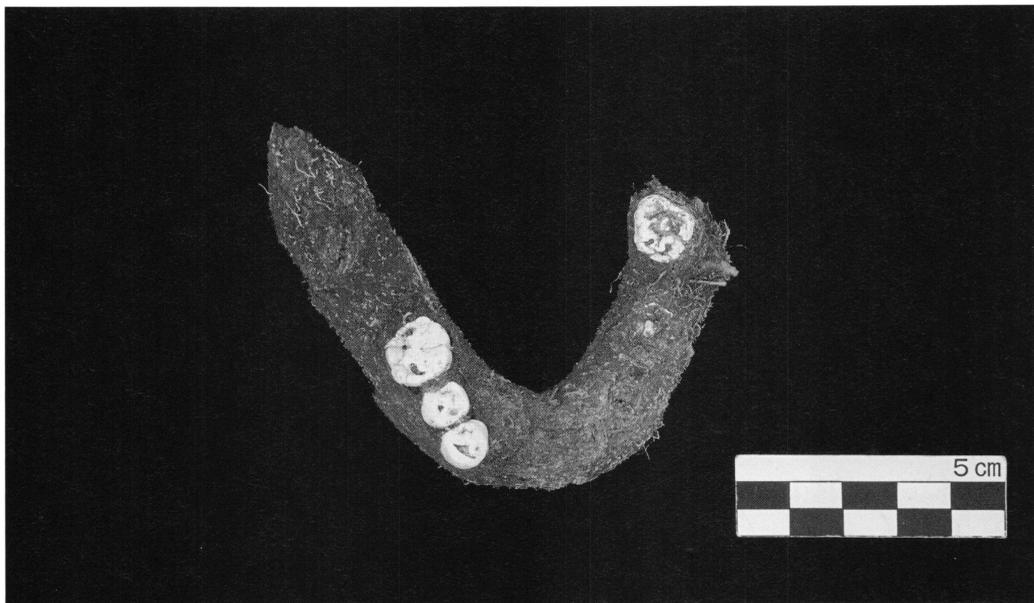


頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

南方浦山 2 号石棺墓 1 号人骨 (性別不明・熟年)  
( The skeleton No,1 from the No.2 stone coffin of the Minamigataurayama site,  
mature male,unknown sex )



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



下顎骨 (The Mandibula)

南方浦山 2 号石棺墓 2 号人骨 (性別不明・老年)  
(The skeleton No,2 from the No.2 stone coffin of the Minamigataurayama site,  
senile male,unknown sex)

---

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

## 研究紀要

第11号

発行年月日 2016年3月  
編集・発行 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム  
〒759-6121 山口県下関市豊北町神田上891-8  
TEL 083-788-1841  
FAX 083-788-1843  
印刷 アロー印刷株式会社  
〒751-0818 下関市卸新町10-3  
TEL 083-223-1211  
FAX 083-223-1309

---